



松庵一丁目

宮前一丁目・四丁目～五丁目

高井戸西一丁目～三丁目

久我山一丁目～五丁目

上高井戸一丁目～三丁目

高井戸東一丁目～三丁目

下高井戸一丁目・三丁目～五丁目

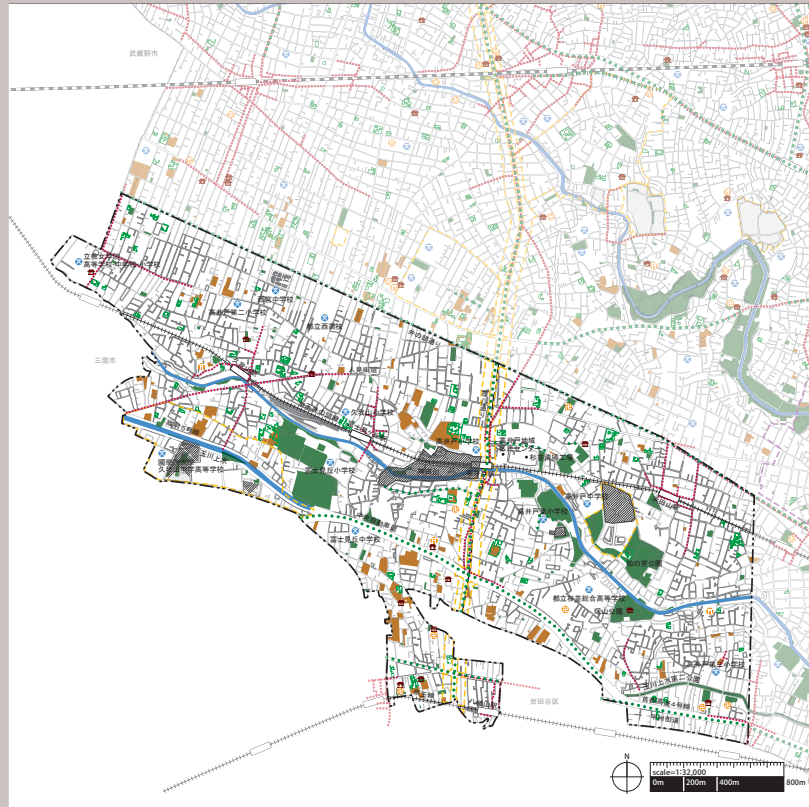
浜田山一丁目～三丁目

区立柏の宮公園の稲刈り

タカイド

高井戸

6 高井戸地域



凡例		
公園・運動場等	●●●●	街路樹
河川、玉川上水	—	遊歩道・散歩みち
農地	●●●●	商店街
屋敷林	寺	寺社
住宅団地	文化財	文化財
地区計画	学校施設	学校施設
風致地区		

歴史

この地域は、江戸時代、大宮前新田、久我山村、上高井戸村、下高井戸村であり、甲州街道に上高井戸宿、下高井戸宿の宿場町がありました。明治22年(1889年)に大宮前新田、松庵村、久我山村、中高井戸村、上高井戸村、下高井戸村の6村が合併し、高井戸村となりました。当時は農家が点在する農村地帯でした。

大正2年(1913年)に甲州街道沿いに京王電気軌道(現在の京王線)が、昭和8年(1933年)に帝都電鉄(現在の京王井の頭線)が開通しました。

高井戸村は、大正15年(1926年)に高井戸町になりました。



京王井の頭線 高井戸駅から浜田山駅を望む
(昭和30年(1955年)2月)

用途地域

浜田山駅、高井戸駅、富士見ヶ丘駅、久我山駅及び八幡山駅周辺、甲州街道や環八通り沿道などは、近隣商業地域です。その他の区域は、第一種低層住居専用地域などです。

また、久我山一丁目と久我山二・三丁目の一部には、玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画*が指定されています。

景観要素

生活的要素

豊かな屋敷林を持つ比較的地域規模の大きな戸建住宅を中心とした住宅地がある一方、中小規模の戸建住宅や共同住宅が混在する比較的高密度の住宅地も形成されています。

浜田山駅、高井戸駅、富士見ヶ丘駅、久我山駅及び八幡山駅周辺は、飲食店などが集まり、それぞれにぎわいのあるまちなみが形成されています。

自然的要素

中央を東西に神田川が、南側を東西に国史跡玉川上水が流れています。玉川上水の上部は現在もその形を留めており、下部は暗き*化され、主に公園として利用されています。また、柏の宮公園や塚山公園、高井戸公園など、みどりのオープンスペース*が豊富にあります。

公共的要素

道路としては、南北に環八通り、東西に北から井の頭通り、人見街道、放射5号線、首都高速4号線・中央自動車道、甲州街道が通っています。

鉄道としては、中央を東西に京王井の頭線が走り、東から浜田山駅、高井戸駅、富士見ヶ丘駅、久我山駅が、南側を東西に京王線が走り、八幡山駅があります。

公共施設としては、杉並清掃工場の煙突が、杉並のランドマークとも言える景観となっています。

また、令和5年(2023年)8月に、富士見丘小学校が改築されました。新校舎の隣には、富士見丘多目的広場が開設され、小学校や少年団体等による貸切使用のほか、一般開放も行っています。なお、富士見丘中学校については、令和8年(2026年)の開校をめざして新校舎の建築工事を行っています。

放射第5号線の久我山駅間については、国の史跡である玉川上水の保全や周辺住環境に配慮した幹線道路として整備されています。

文化的要素

浴風会の本館は、「東京都選定歴史的建造物」に指定されており、高井戸地域のシンボルのひとつとなっています。その他、塚山公園には縄文時代中期の遺跡があります。

永福一丁目～四丁目
浜田山一丁目・三丁目
下高井戸一丁目～三丁目
和泉一丁目～四丁目
方南一丁目～二丁目
堀ノ内一丁目～二丁目
大宮一丁目
松ノ木一丁目
永福四丁目

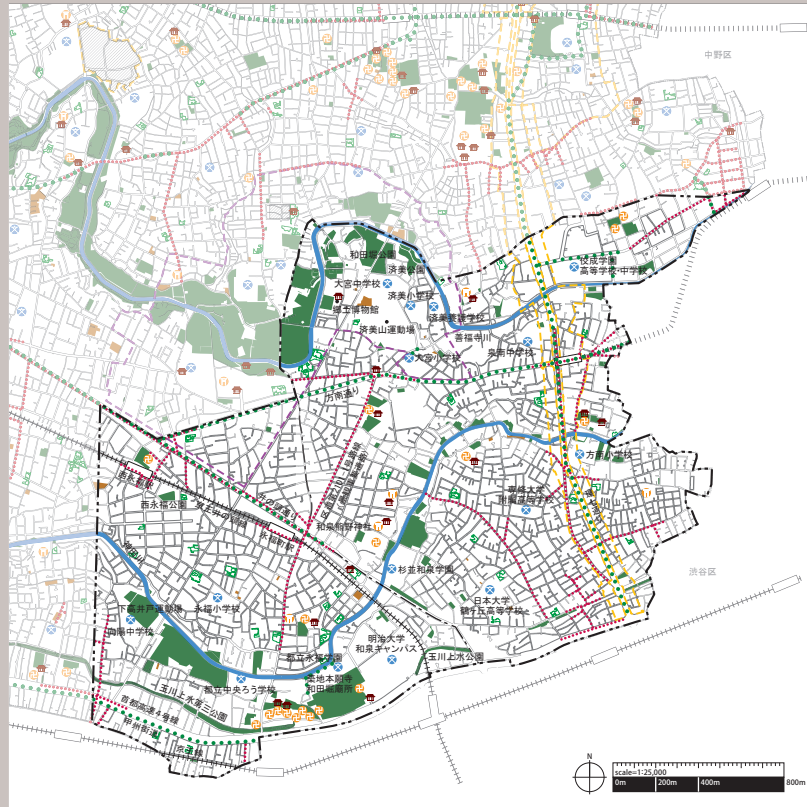


方南銀座商店街

方南・和泉

ハウナン イズミ

7 方南・和泉地域



凡例			
	公園・運動場等		街路樹
	河川、玉川上水		遊歩道・散歩みち
	農地		商店街
	屋敷林		寺社
	住宅団地		文化財
	地区計画		学校施設
	風致地区		

歴史

この地域は、江戸時代、和田村、堀ノ内村、和泉村、永福寺村、下高井戸村でした。明治22年(1889年)に和田村、堀ノ内村、和泉村、永福寺村の4村が合併し、和田堀内村となりました。下高井戸村は、明治22年(1889年)に大宮前新田、松庵村、久我山村、中高井戸村、上高井戸村と合併し、高井戸村となりました。当時は農地や雑木林に囲まれて農家が点在する農村地帯でした。

大正2年(1913年)に甲州街道沿いに京王電気軌道(現在の京王線)が、昭和8年(1933年)に帝都電鉄(現在の京王井の頭線)が開通しました。

大正15年(1926年)に和田堀内村は和田堀町に、高井戸村は高井戸町になりました。

用途地域*

永福町駅及び西永福駅周辺、甲州街道や環七通り沿道などは、商業地域及び近隣商業地域です。その他の区域は、第一種低層住居専用地域などです。

また、環七通り沿道は、沿道地区計画*が指定されるなど、道路交通騒音の防止と商業・業務機能の集積が図られています。

景観要素

生活的要素

土地区画整理*が実施された地区がある一方、戸建住宅や木造アパートが密集している地区もあります。

また、方南一丁目地区は東京都の不燃化特区*に指定されており、公園や広場といった空地がほかの区域よりも少ないため、災害時に避難する場所の確保に取り組んでいます。

永福町駅、西永福駅及び方南町駅周辺は、にぎわいのあるまちなみが形成されています。

自然的要素

北側を東西に善福寺川が、中央を東西に神田川が流れています。

和田堀公園や下高井戸おおぞら公園、寺院などみどり豊かなオープンスペース*が多く点在しています。

また、善福寺川の親水護岸*と一体となった済美公園があります。

公共的要素

道路としては、南北に環七通り、東西に北から方南通り、甲州街道、南東から北西にかけて井の頭通りが通っています。

甲州街道などの幹線道路沿道には、共同住宅や事業所ビルなどが連なっています。

永福町駅北口商店街の区道第2101-1号路線は、無電柱化整備などにより、安全で快適な歩行空間が確保されています。

鉄道としては、井ノ頭通りに沿って京王井の頭線が走り東から永福町駅、西永福駅があるとともに、地域の東端には東京メトロ丸ノ内線方南町駅があります。

また、方南一丁目地区においては、「方南一丁目地区防災まちづくり計画*」を令和6年(2024年)7月に策定し、建物の不燃化等の防災まちづくりを推進しています。

文化的要素

方南銀座商店街では、毎年8月に「HONAN エイサー&ミュージックフェス」が開催され、小さな子どもから小・中学生、大人まで地域が一体となって楽しんでいます。

また、杉並に関する歴史と郷土資料の収集・保存、調査・研究と展示・公開を行っている杉並区立郷土博物館があり、歴史と文化に触れることができます。